

家庭文庫「ちいさな本の家」をご存知ですか？

2009年に閉館した沼津イトーヨーカドー子ども図書館。

絵本や児童書は沼津市に受け継がれ、「沼津っ子ふれあいセンター ぽっぽ」内の「沼津子ども図書室 パタポン」に絵本を中心に置かれています。

しかし、児童書や一部の本は倉庫にねむったままでした。

（この本をなんとかしたい。なんとかしよう。）そこで、引き継いだ本を活かせるように、パタポン友の会のメンバーが中心となって、私設図書館作りを始めました。

そして・・・。2016年（平成28年）5月 ちいさな本の家オープン！！

パタポン友の会



<沼津子ども図書室パタポン>



第3土曜日 11時から
「わらべうたとおはなし会」



ちいさな本の家は、
毎週土曜日 午前10時～
午後4時まで開いています。
第5土曜日はお休みです。



オープンからの一年の間に、おはなし会・工作会・イベントなどでたくさんの方との交流があり、世代を超えてご利用いただけました。

講演会

(株) 童話屋代表 田中和雄氏
「折々のうたと子ども図書館とのはらうたのころを読む」
詩と絵本の出版社
童話屋 田中和雄氏講演会
2月4日（土）14時～
沼津市御用邸記念公園
東附属邸 第一・第二学問所
参加者46名+スタッフ10名
（申し込み48名）

☆「童話屋 田中和雄氏講演会」と
「あそぼ〜るを作ろう」は、沼津市
民間支援まちづくりファンド事業
の後援をいただいております。



布のおもちゃ「あそぼ〜る」は、
キャッチが楽しくふわふわ感が心地
いい布製の立方八面体のボール
です。

ちいさな子でも
つまんで
持てます

遠くにも
転がらないので
安心



講座

「あそぼ〜るを作ろう」

☆3月16日 ちいさな本の家で、あそぼ〜るを作りました。
主におばあちゃん世代、親子三世
代参加もあり楽しく針仕事をしま
した。
☆4月27日 愛鷹地区センターで赤
ちゃんのママさんと、あそぼ〜る
を作りました。ママはちくちく針
仕事。赤ちゃんはにこにこ。

☆あそぼ〜るは
静岡市の
小児科医の妻、
望月弘子さんが
診察を待つ親子の
ために考案され
ました。

わちくちく。
わい。



☆ちいさな本の家では、本を身近に感じてもらい、大人も子どもも本を借り
に来たり読みに来たり、地域の方々や市内外からも居場所、出かける場所と
なってきました。また、高齢者の方も子どもとの交流を持つことができ、特
に行事の際は「また是非やってほしい」と好評を得ることができました。

市内外いろいろなお客様同士の異世代交流の場となってきています。これか
ら、ちいさな本の家にはいらした方々が世代を超えて楽しめるイベントを計
画して「読書」と「居場所」この2つの目的に沿う場所にしていきます。

☆2017年 9月30日「石井桃子さんドキュメンタリー映画」上映（終了しまし
た。）10月29日 菅原久夫氏と千本浜の植物探訪散歩を企画。（どちらも沼津
市民間支援まちづくりファンド事業の後援で実施します。）

☆これからの活動や様子は、ちいさな本の家だより、ちいさな本の家フェイ
スブック、ツイッターちいさな本の家 (@-bunko) などをご覧ください。

ちいさな本の家は、
青い看板が目印です。



ちいさな本の家からは
楽しい声が聞こえてきます。



2017年 9月30日
石井桃子さんドキュメンタリー映画 上映会
の様子（監督・森氏解説）
※沼津市民間支援まちづくりファンド事業の
後援をいただき、ありがとうございました。